

交渉速報

J R 貨物労組中央本部業務部

2022 年 12 月 16 日

No.10

2023年3月ダイヤ改正及び年度末効率化 施策の提案を受ける

中央本部は「2023 年 3 月ダイヤ改正及び 2022 年度末効率化施策」について、提案を受けました。主な内容は以下の通りです。（詳細は別紙参照）

《2023年3月ダイヤ改正の主な内容》

1. コンテナ列車

(1) ブロックロレインの拡充

- ① 関東～九州間：積み合わせ貨物ブロック販売に伴うダイヤ・輸送力配置変更
- ② 輸送力増強：福山1号（東京タ～吹田タ）、福山2号（東京タ～広島タ）
- ③ フォワダースブロックトレイン（越谷タ⇄百済タ・姫路貨物）輸送力配置変更

(2) 輸送サービスの向上

- ① 大型コンテナ輸送ルート of 拡大
- ② 需要に応じた直通輸送ルートの新設

(3) 需要動向等を踏まえた輸送体系の見直し

- ① TOYOTA LONGPASS EXPRESS 1 往復化
- ② 名古屋臨海鉄道 日曜日休止
- ③ テレフタル酸輸送終了に伴う輸送体系見直し（2023 年 8 月頃予定）
- ④ 日豊線 南延岡駅輸送終了に伴うフィーダー輸送見直し（2023 年度上期中予定）
- ⑤ 石巻線 輸送体系見直し（通年運転列車 4 往復化）

(4) ご利用状況を踏まえた駅営業体制の見直し

- ① 春日井（土・日曜営業休止） ② 大館（フォークリフト稼働時間の見直し）

2. 車扱列車

(1) 顧客要望を踏まえた石油列車のけん引トン数拡大（竜王）

(2) 旅客会社向け 150m レール輸送体系の見直し

3. 安定輸送対策 災害時における迂回輸送ダイヤの設定（北しなの線・妙高はなうまライン）

4. 設備投資 (1) 機関車…合計18両 (2) コンテナ…合計4,000個 (3) フォークリフト…合計50台

5. ダイヤ改正日 2022年3月18日（土）JRグループ改正

提案を受けるにあたり中央本部は、「ダイヤ改正は収入を拡大するために、列車を仕立て安全で安定した輸送の確保が大前提である。そのためには、「教育」「技術継承」「安全確立」が重要である。また、コロナの第8波が懸念され、感染拡大している状況もあり、職場では感染者が拡大している。会社としての対応を行なうことを主張しました。これに対して会社は、「貨物会社は、2024 年問題・ESG・SDGs の対応を求められ、鉄道貨物輸送の特性を発揮するために指定公共機関として、安全を最優先させ、社会貢献をしていく」との考え方を明らかにしました。

今後は、申し入れを行ない団体交渉で協議します。あわせて各地方本部と連携をはかり問題点・課題の解決にむけて取り組みます。

以 上